

研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

線量管理システムを用いた脳動脈瘤 I V R 用プロトコルの検討

1．研究の対象および研究対象期間

当院脳神経外科にて2022年1月から2024年12月に脳動脈瘤に対して血管内治療を受けられた患者さん。

2．研究目的・方法

嚢状動脈瘤に対する脳血管内治療(Interventional radiology : IVR)において近年ではフローダイバータステント等の治療デバイスが使用されます。しかし種類によって透視上の視認性が悪いデバイスが存在します。展開時の視認性は安全な手技の確立のため重要ですが、視認性改善のために透視の線量を上げなければならず、総被ばく線量の増加が懸念されています。本研究では高線量透視と低撮影線量を併用した嚢状動脈瘤 IVR 用新撮影プロトコルを作成し、高線量透視を使用しても患者表面被ばく線量の増加を抑制可能であるか、線量管理システムを用いて検討することを目的とします。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025年 6月 30日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

当院脳神経外科にて2022年1月から2024年12月に実施された脳動脈瘤に対する血管内治療における線量管理システム内の患者被ばくデータ

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6．研究組織

研究責任者 昭和大学病院 放射線技術部 氏名 荘司学

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 放射線技術部

氏名：荘司 学

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-3122